



なもり
菜森 恋夏

159cm
51kg

B84(Dカップ)
W57
H82

気が強めで、いじっぱり。

なんだか最近はセックスに
消極的。こちらから誘わないと
なかなかする機会がない。

よし、セーので
全部表おもてにするぞ

うん、わかった

セーの!!

私があなたに
負けるわけないでしょ

ふ、ふふんっ

くつ…そー!!
あと10点つ…!

俺達はこの定期テストの
五教科の合計点数で
競つていた。

いつもはただ点数を
見せ合うだけなのだが
今回は違つた。



負けた方は
勝つた方の言うことに
従わなければいけない
という約束をしていたのだ。

この勝負に勝つたら
今日は夜通しぴセックスしたいと
お願ひするつもりだつたのに。

いつにも増して勉強したが
結局彼女も気合を入れていた様で、
あえなく負けてしまつた。

普段、消極的な彼女だが、
賭けとなれば話は別だ。

お互いの了承のもと、
公正な勝負をした結果なら
何をお願いしても文句は言われないだろう。

そう思つて
この一週間は睡眠不足になるほど
勉強したんだけどなあ…

それで：
恋夏のれな
のお願いは？

えっとね…

どうせ買い物に
付き合えとか言うんだろう。
荷物持ちさせるのがマイブームとか
こないだ言ってたからな…

きょ、今日は
親帰つてこないんだけど…

私の部屋で…その…シない?

ん?

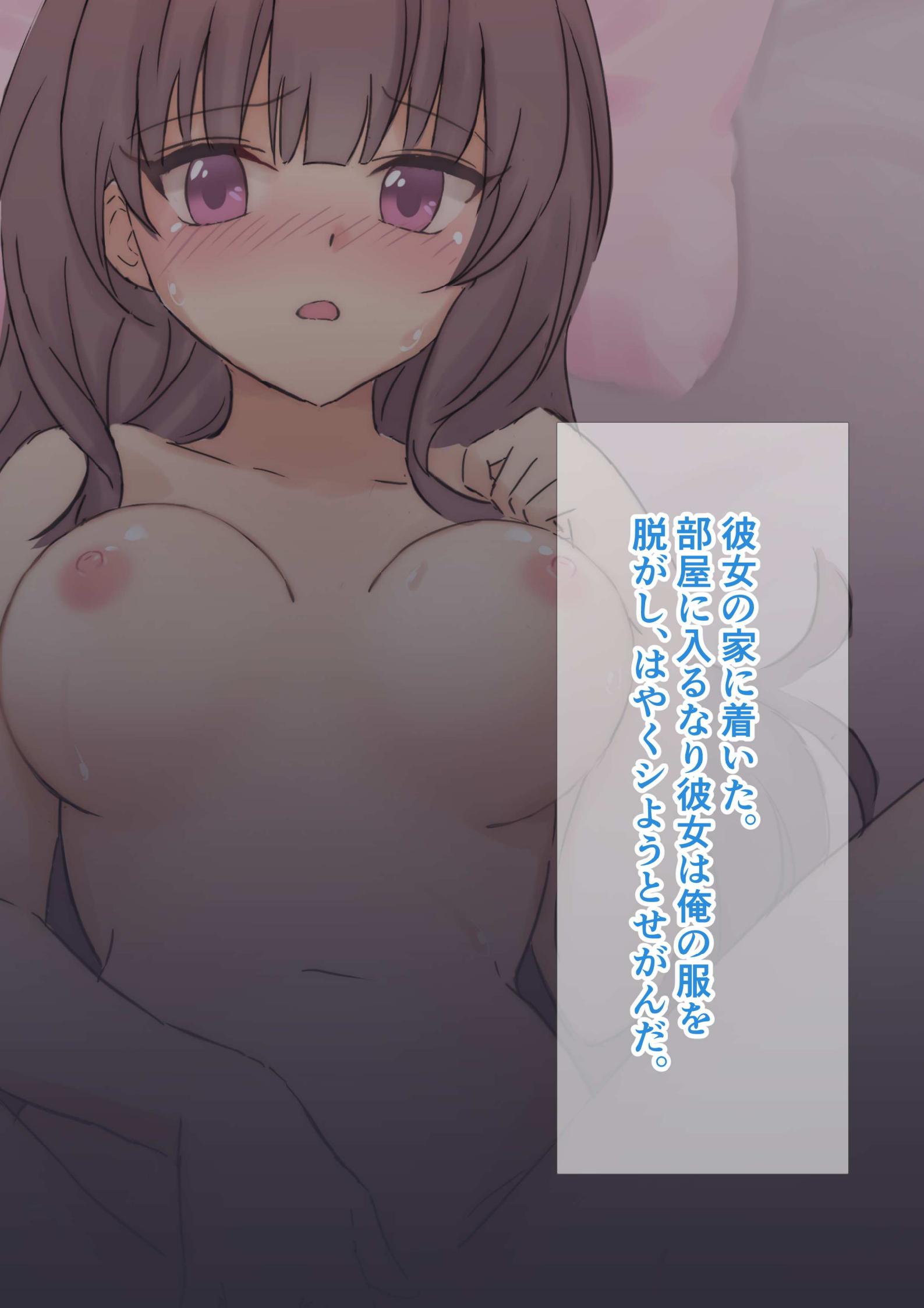
(いよっしゃあああ!!)

平静を装いつつ、心のなかで
全力でガツツポーズをした。

なんだか分からなが
結果オーライだ。

今日はテスト返却が
午前中で終わって
早く下校できる上に
明日は休日だ。

これは俺の元の目論見通り
夜通しセックスできるかもしねり。



彼女の家に着いた。
部屋に入るなり彼女は俺の服を
脱がし、はやくシようとせがんだ。

前戯はいいのか？

もう…濡れてるから…

ん？なんだって？

ドキ

ドキ

なんでもない！
ほ、ほらつーはやくしなさいよ

お、おう、挿れるぞ…

んつ…

あつ…

はあ

なんか、いつもより感じてない？

ギギッ

んんつ

ギギッ

へつ!?

そつそんなことない！
なに言つてんのつ

ふ
体験版はここまでです。
この続きは、本編でお楽しみください♥

んツ
♥